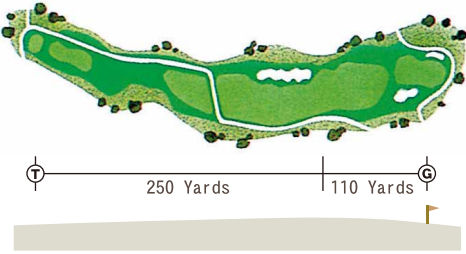


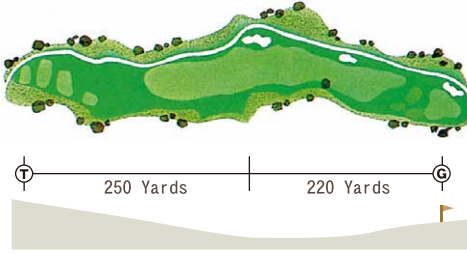
No.1 BT:325 / RT:306 / FT:250 / PAR:4 / HDCP:17



JAXA（沖縄宇宙通信所）のパラボラアンテナが、プレーヤーを歓迎するかにそびえ立つスターティングホール。

- TEE：バンカー左はすぐにOBゾーンのため、フェアウエーセンターから右サイドが狙い目。右サイドはOB無し。
- 2ND：右にカップが切られた場合はバンカー越えになるため、キャリーでの距離が必要。
- グリーン周り：右サイドからのアプローチは順目なので、ランの計算が難しい。また、左サイドからは逆目のため、ショットに注意。
- グリーン：右側が高い2段グリーン。芝目が海側へ向いているので、下りのパッティングは要注意。

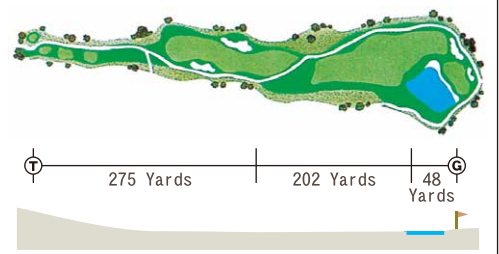
No. 2 BT:452 / RT:440 / FT:345 / PAR:4 / HDCP:1



一番難易度の高い、長いミドルホール。グリーン手前100ヤード地点の1本松が枝を大きく広げて、2オンをさらに難しくしている。

- TEE：ティーショットの落下地点が狭くなっている。100ヤード地点にある松を避けて左サイドが狙い目。
- 2ND：フェアウエーはフラットに見えるが、若干の上り。グリーン手前のグラスバンカーを越えるためにはキャリーでの距離が必要。
- グリーン周り：グリーン奥・右側からは下り＆順目のアプローチになってしまうので要注意。
- グリーン：グリーン奥からはすべて下りの順目のラインなので注意したい。

No. 3 BT:520 / RT:472 / FT:366 / PAR:5 / HDCP:13



遠く瀬底大橋を望む、打ち下しのロングホール。ティーグラウンドはアッタを代表するビューポイント。

- TEE：右バンカー越え狙いで、距離を稼ぎ2オン狙いも可能。
- 2ND：左足下がりのため打球が低くなり、スライスが出やすく、クラブ選択が要となる。
- グリーン周り：池手前ギリギリだと左足下りのライのため、アプローチが難しくなる。また奥のバンカーからだと下りのアプローチになる。
- グリーン：横長の受けグリーンだが、手前は池向きに順目、奥はバンカー方向に順目で、芝目が逆になっているのが特徴。

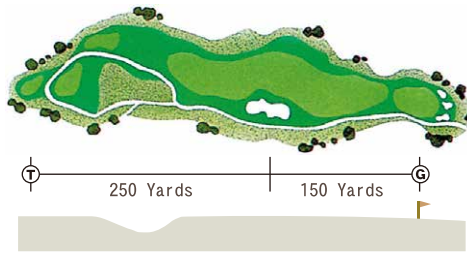
No. 4 BT:185 / RT:134 / FT:112 / PAR:3 / HDCP:8



ティー前の深い谷と、受けグリーンが見た目以上にグリーンを近く感じさせる。風の計算を間違えないようにして1オンを狙いたい。

- TEE：グリーン上空で風が巻くので、フラッグだけでなく木の揺れ方も参考に。
- グリーン周り：グリーン右手前のバンカーは高さで距離があるため注意したい。
- グリーン：芝目が複雑。右サイドは下りの順目で繊細なタッチが必要。

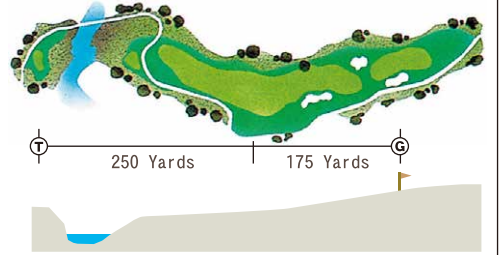
No. 5 BT:378 / RT:343 / FT:255 / PAR:4 / HDCP:7



ティーショットは左サイドへ。ややお椀型に縦に伸びた長いグリーンなので、ピンまでの距離を正確に。

- TEE：バンカー左狙い。バンカーを越えるにはキャリーで230ヤード必要。
- 2ND：グリーン手前がくびれており、グリーンも縦長なので距離感と方向性が見極めが必要。特にグリーン上空の風向きに注意。
- グリーン周り：グリーン左右ともにOBラインが近く、花道からは逆目の上りになる。
- グリーン：グリーン奥から順目で全体的に受けているため、ピン奥からのアプローチは要注意。

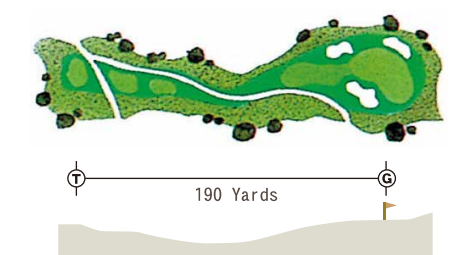
No. 6 BT:390 / RT:280 / FT:240 / PAR:4 / HDCP:3



バックティーからは谷越えの長いミドルホール。

- TEE：フェアウエー左サイドの松を避けてのセンター狙いだが、210ヤード以上飛ぶと左足上がりになる。
- 2ND：2打目の打ち上げは1～2クラブ大きめに。グリーン手前のバンカーは高さがありグリーンが見えない。
- グリーン周り：グリーン左サイドからは比較的アプローチが容易。右サイドからは下り傾斜のため難しい。
- グリーン：奥が高い縦長の2段グリーン。奥から順目の下りラインになるので要注意。

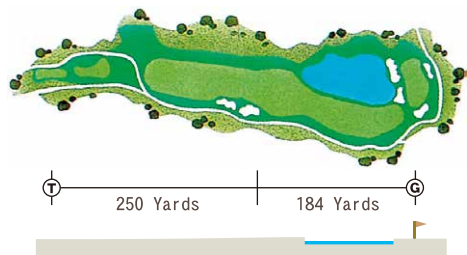
No. 7 BT:180 / RT:156 / FT:91 / PAR:3 / HDCP:14



砲台グリーンのため風の影響を受けやすく、正確なショットが求められるコース。

- TEE：周りが林に囲まれているため、風向きが分かりにくい。グリーン手前が受けているのもあり、キャリーでの距離が必要。
- グリーン周り：グリーンが砲台状になっており、左サイドのラフは芝の茎が強くクラブの抜けが悪い。アプローチの距離感も合わせにくい。
- グリーン：比較的平坦に見えるが、微妙な傾斜と芝目がある。特にグリーン手前側は傾斜と芝目が重なり、意外と速い。

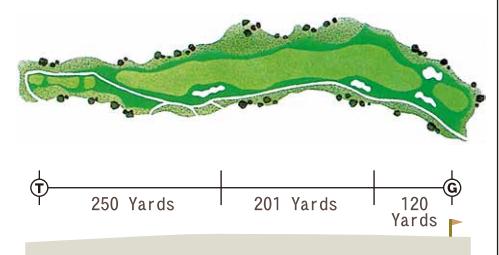
No. 8 BT:424 / RT:383 / FT:325 / PAR:4 / HDCP:5



池、バンカー、そしてグリーンと重なり、その距離感を近く感じさせるが、ロングドライブなら思い切って2オンを狙いたい。

- TEE：バンカーを越えたあたりから池に向かって下っているので、ティーグラウンドの位置によっては池に入る可能性もあり。
- 2ND：横長で奥行きが無いグリーンは前後を4つのバンカーに囲まれており、受けていないのでキャリーで落ちるとオーバーの可能性大。
- グリーン周り：グリーン左サイドからは順目になり、若干の下りになるので速い。
- グリーン：グリーン真ん中から手前と奥に向かってはっきりと芝目が分かっている。パッティング前に芝目の確認を。

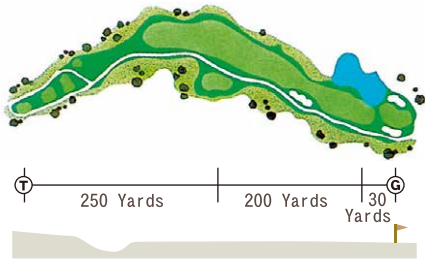
No. 9 BT:564 / RT:529 / FT:429 / PAR:5 / HDCP:5



ゴーイングアウトの最終は、思い切って打てるロングホール。

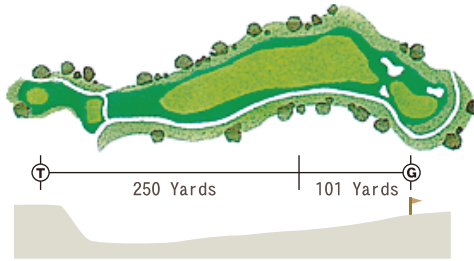
- TEE：ティーショットはフェアウエーセンター狙い。左ラフは芝が絡みつくので要注意。
- 2ND：軽く右へ曲がっているため、バンカーの上狙い。バンカーを避けて左へ逃げすぎると、林が邪魔になりグリーンが狙えなくなる。
- グリーン周り：グリーンは花道以外が砲台状になっており、ラフは芝の茎が強くクラブの抜けが悪いので要注意。
- グリーン：縦長のグリーンは方向性重視。手前から右奥へ芝目が向いているので見た目以上に切れる。

No.10 BT:480 / RT:443 / FT:310 / PAR:5 / HDCP:18



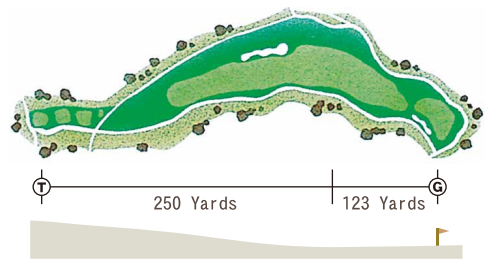
距離の短いロングホールだけに、ティーショットの狙い処が決め手になる。
 ■TEE：手前の谷越え狙いだが、カート道より右側は2打目が打ちにくい。
 ■2ND：ティーショット次第で2オンも十分狙えるが池越えのため、キャリーの距離が必要。
 ■グリーン周り：花道からのアプローチは容易。右バンカーからは下り傾斜と順目のため、ボールを止めにくい。
 ■グリーン：グリーン左から右へ芝目が流れている。傾斜と芝目が一緒のため、曲がり具合は大きめに見たほうが良い。

No.11 BT:336 / RT:273 / FT:217 / PAR:4 / HDCP:9



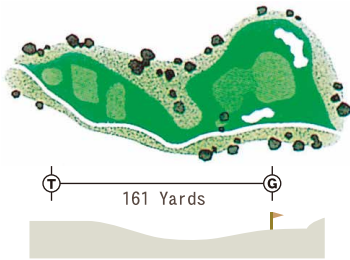
ティーショット、セカンドと無理をせずにパッシングチャンスに期待。
 ■TEE：ドライバーでは左林へ突き抜ける可能性も。攻めるなら右斜面中腹狙いで。
 ■2ND：見た目より上っているの、残り距離をしっかり打っていききたい。
 ■グリーン周り：グリーン左手前バンカーに入るとノーチャンス。奥からのアプローチも下り傾斜がきついので難しい。
 ■グリーン：奥からは傾斜がきついので、出来る限りカップ手前から攻めたい。

No.12 BT:370 / RT:353 / FT:235 / PAR:4 / HDCP:12



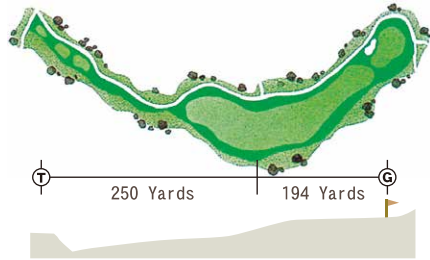
東シナ海へ向って打ち下ろす、やや右ドッグのミドルホール。
 ■TEE：フェアウエー全体が左へ傾斜しているの、センター狙いと2打目の距離が残る。思い切って右斜面中腹狙い。
 ■2ND：グリーンも全体的に左へ傾斜しているの、グリーンセンターよりも右狙いで。
 ■グリーン周り：花道・グリーン左サイドからのアプローチは容易。グリーン右バンカー・グリーン奥からは傾斜と芝目が順目のため注意したい。
 ■グリーン：グリーン右奥からの下り傾斜と芝目が同じなので、カップより奥に付けるとノーチャンス。

No.13 BT:161 / RT:142 / FT:126 / PAR:3 / HDCP:16



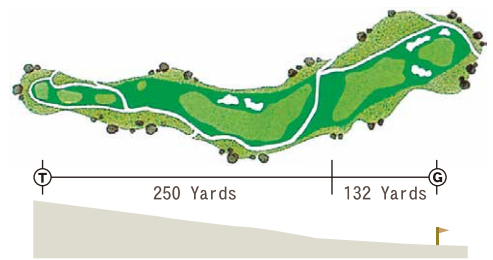
林の中、鮮やかに庭園風に収まったショートホール。
 ■TEE：グリーンオーバー厳禁。奥からは下り順目のアプローチが残る。林上空を吹きぬける風要注意。
 ■グリーン周り：グリーン左奥バンカーからは、グリーン傾斜がきついので難しい。
 ■グリーン：右サイドは傾斜がきつい。グリーン右側からのパッシングは曲がり具合に要注意。

No.14 BT:400 / RT:382 / FT:295 / PAR:4 / HDCP:4



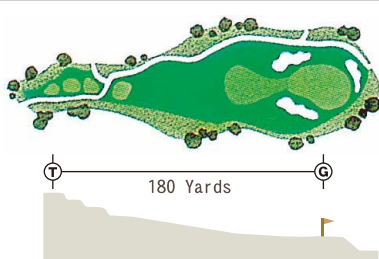
打ち上げて、大きく左ヘドッグレグするインの難所。
 ■TEE：左サイドを狙いすぎると2打目が狙いにくい。フェアウエーセンター狙いで。
 ■2ND：打ち上げとつま先上がりのライになるため、グリーン右サイド狙い。グリーン左手前に木があるので要注意。
 ■グリーン周り：グリーン右サイドからのアプローチは容易。
 ■グリーン：馬の背になっていて芝目が右から左に流れているの、ラインが読みにくい。

No.15 BT:364 / RT:346 / FT:217 / PAR:4 / HDCP:14



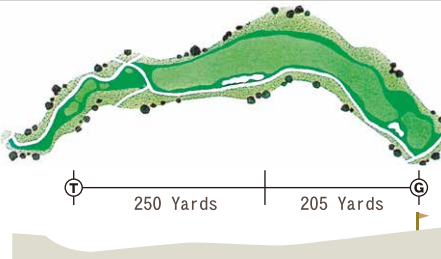
左サイドのバンカーを気にして右へ逃げすぎると、トラブルが待つミドルホール。
 ■TEE：ティーショットは左林ギリギリが狙い目。右に行き過ぎると粘っこいラフが待ち受ける。
 ■2ND：グリーン左右を深いバンカーが囲む。方向性重視で。
 ■グリーン周り：グリーン左サイドの2個のバンカーは高さがあり難しい。
 ■グリーン：傾斜と芝目が逆のため、カップの前後からだ見た目より曲がりが少ない。

No.16 BT:185 / RT:167 / FT:125 / PAR:3 / HDCP:10



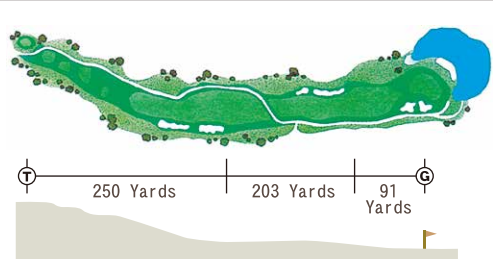
東シナ海の紺碧の海を望むジ・アッタテラス自慢のコース。
 ■TEE：打ち下ろして1~2クラブは小さめに。上空の風はグリーン右の林の揺れを参考に。
 ■グリーン周り：グリーン周りの3個のバンカーは砂がしまっていて、クラブが弾かれてしまう。
 ■グリーン：グリーン手前から奥に向かったの順目。曲がり具合は少なめに見たほうがよい。

No.17 BT:425 / RT:407 / FT:307 / PAR:4 / HDCP:2



恩納岳のふもとに大きくフェアウエーが流れるミドルホール。
 ■TEE：無理にバンカー越えを狙わず、フェアウエー左サイドから攻めたい。
 ■2ND：2打目は上りの距離を見て、1~2クラブ大きめの選択を。
 ■グリーン周り：グリーンを外しても、左サイドからならアプローチも比較的容易。
 ■グリーン：奥が高い縦長の2段グリーンで、カップと逆の段にオンすると3パットの可能性大。特に下の段は順目の下りのため要注意。

No.18 BT:536 / RT:500 / FT:363 / PAR:5 / HDCP:11



フィニッシングホールとしての舞台を備えたロングホール。
 ■TEE：左サイドはOBゾーンが近いので、右バンカーの先狙いで。
 ■2ND：花道両サイドにバンカーがある。100ヤード以内はフラットなライなので、パーディーチャンスも十分可能。
 ■グリーン周り：グリーン奥からのアプローチは、下り傾斜になるので要注意。
 ■グリーン：受けグリーンではあるが、グリーン手前から奥に向かって順目のため上りも意外と速い。